

森と人の絆を取り戻す

ふる里の森林にもう一度いのちを

森林の整備において、間伐作業や作業道を作ろうとしても、森林所有者の同意を集めるのが大変で、整備が一步も進まないことがあります。地元を離れた所有者と連絡がとれなかったり、所有者が自分の所有する山林の位置が分からなかったりするからです。こうした中、荒廃寸前のふる里の森林の姿を憂い、再生を誓って立ち上がった地域があります。「森の力再生事業」を活用し日本の中山間地域の危機のひとつでもある、森林の荒廃問題に希望の光をあてたモデルケースです。



ふる里の山や川が崩壊していく。

掛川市倉真の大沢地区は東京オリンピックの年、1964年には12戸の集落でした。しかし、時代とともに都市部への人口流出が加速し、1975年に最後の戸も山を降り廃村となりました。やがて、管理の行き届かないスギやヒノキの人工林は荒廃していきました。昼でも真っ暗な森林にはミミズも棲まなくなり、保水力の低下により川の水が半減。里山は崩壊寸前となりました。



豊かな里山を子どもたちに引き継ぐために。

「大水が発生すれば、下流の街を襲う」「未来ある子どもたちに豊かな里山を引き継がねば」と、この地区の出身者を中心とする有志が立ち上がり、「NPO法人時ノ寿の森クラブ」が発足したのです。森林所有形態が小規模で分散していることに加え、不在村所有も多く、森林の整備が遅れていましたが、山主と同郷というクラブメンバーの強みを生かし、100人以上の森林所有者に声をかけ、事業の計画をとりまとめました。



地域のが里山にいのちを吹き込む。

また、この計画をもとに、地元の田旗造園建設株式会社(掛川市)が、専門的な技術を有する間伐等の作業を担う形で参画。同社の力を借りながら、森の力再生事業を活用し、2008年度から6年間で、同地区の約209ヘクタールの森林を一体的に整備しました。さらに、2009年からは新聞社の植樹キャンペーンと連携し、一般参加者を募り、本格的に広葉樹の植樹をスタートさせました。半世紀の間に荒廃し保水力が低下した森林でしたが、2011年の春、郷土樹種のイロハモミジが芽を出し、土を掘るとミミズが跳ねたのです。時ノ寿の森クラブのメンバーが「森の力」の再生を実感した瞬間でした。



森の駅にいらっしやい。

時ノ寿の森クラブは、活動拠点の建設にも取り組みました。「森の集会所」と名付けられたクラブハウスは、かつてこの地域にあった民家と同じ木造伝統工法で、間伐したスギやヒノキをふんだんに使って建てられました。「森の集会所」は一般にも開放され、国道沿いの「道の駅」のように、さまざまな人が立ち寄り、都市と山村の交流が行われ、森林の大切さ、山村の知恵や文化の発信に貢献しています。

「時ノ寿の森クラブ」掛川市中宿113 tel.0537-23-0412

「森の集会所」掛川市倉真7021 tel.0537-28-0082



私たちの宝「^{もり}森林」を守るために 森の力再生事業

森林が雨水を蓄えて時間をかけて川に流す働きや土砂の流出を防ぐ機能をはじめ、生物多様性の保全、二酸化炭素を吸収・蓄積するなどの森林の持つ公益的機能を「森の力」と呼んでいます。しかし、社会や経済状況の変化により林業が低迷し、森林所有者の手入れが行き届かない「森の力」が低下した森林が増えてきました。そこで、県では、推進意欲と実行力のあるNPOや企業などの力を借りながら、荒廃している森林を針葉樹と広葉樹の混じった森林や多様性のある広葉樹の森林などに誘導する「森の力再生事業」を推進し、県民の安全で安心な暮らしを守る「森の力」を回復していきます。

着実に回復する「森の力」

事例:1 手入れが遅れた人工林



浜松市天竜区 熊地区
間伐により広葉樹の
混じった森へ



樹木が込み合い暗くなったスギ・ヒノキの人工林では、間伐して地面に光りを当てることで、下層に草や木が芽生え成長します。

事例:2 台風による
風倒被害を受けた人工林



伊豆市 大平地区
被害木を片付け、
多様な樹種の森へ



被害が拡大しないように倒れたスギ・ヒノキを片付けます。

事例:3 放置された
竹林・広葉樹林



島田市 高熊地区
放置竹林を伐採し、
多様な樹種の森へ



放置された都市近郊の竹林が、周囲の住宅や畑、森林に侵入しないように伐採します。

いのちの400円「^{もり}森林づくり県民税」

「森の力」を再生するための整備は、2008(平成18)年から、県民の皆さんに負担いただいている、1人400円の「^{もり}森林づくり県民税」で実施しています。整備した森林は、下草が地表を覆い、樹木の種類が増え、着実に「森の力」が回復しています。9年間で全体計画の9割にあたる11,000haの森林を整備しました。

森の力を再生

検索



静岡県 交通基盤部 森林局 森林計画課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 県庁東館13階

tel: 054-221-2666

<http://www.pref.shizuok.jp/kensetsu/ke-710/index2.html>

公益社団法人 静岡県山林協会

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 県庁西館9階

tel:054-255-4488

<http://www.moritohito.jp/>



「ふじのくに森の町内会」の紙を使うことにより、林地に残されている間伐材を資源として活用するのに協力し、静岡県の豊かな森林づくりをサポートしています。

制作:平成27年2月

発行:平成27年3月